

第 86 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 24 年 2 月 26 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名  
出席委員の氏名 児玉 昭義 木村 敏彦 堂園 孝美  
小島 隆雄  
欠席委員の氏名 島田 貴司 中島 和晃 大橋 民男  
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
  1. 番組編成に関して
  2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容  
議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。  
委 員 長 児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。  
会社側委員：「ラジオ博物館」は再放送を含め 3 月末で終了するのですが、番組内容は好評であり、存続の可能性を探っております。地域情報サイト「マイプレ」とのコラボレーションをも模索中です。  
委 員：マイプレは地域の商店やイベントなどの情報をホームページで紹介しておりますが、ラジオメディアとの交流は、メディアミックスの中心としても面白いと思う。「ラジオ博物館」の継続にも期待したい。  
会社側委員：3 月 11 日に特別番組として放送予定の JCBA 関東地区協議会制作の番組を放送いたします。番組制作には関東地区を代表して茨城県の 4 局に担当してもらいました。  
委 員：3.11 で出来た事出来なかった事を振り返って今後の行動に役立てるべきだと思う。今回の送信所の整備やスタジオの移転も非常時への対応として有効である。情報発信基地として平時からの心構えも大切でしょう。  
会社側委員：新スタジオは長谷消防出張所であった建物の 3 階なので耐震や耐火あるいは津波への対応も改善されます。  
委 員：情報発信基地としては難聴地区対策にも留意いただきたい。  
会社側委員：目下可能な対策として送信アンテナ直前の樹木剪定を依頼しております。  
委 員：前回は申し上げましたがイザという時の機能に留意して下さい。  
会社側委員：鋭意努力します。  
委 員 長：本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日  
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し  
以 上